

JAグループ石川 担い手応援フェア 2020 ～農業新時代、未来を切り拓く石川の農業～ 開催概要

主催 JAグループ石川「担い手応援フェア」2020実行委員会

後援

石川県、(公財)いしかわ農業総合支援機構、いしかわ農業振興協議会、石川県農業青年グループ連絡協議会、石川県農業法人協会、石川県農業会議、石川県農業共済組合、石川県農協青壮年部協議会、JA石川県女性組織協議会、全国農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会

開催概要

[開催日時] 令和2年11月28日(土) ※午前・午後の入場者入替制
 午前の部 8:45～12:15 / 午後の部 12:45～16:30
 [開催場所] 石川県産業展示館 4号館、屋外展示場
 [来場者見込] 県内担い手農業者 1,000名以上



石川県産業展示館4号館



会場の様子(平成30年12月開催時)

開催主旨

新型コロナウイルス感染拡大に関する収束見通しが立たない中、農業分野では、省力・低コスト化やスマート農業などを中心に技術確立が一段と進んでおり、これら有益な情報提供を含め、JAグループには引き続き、農業者の所得増大・農業生産に向けた多角的な提案や、自己改革に基づく実践支援を強化していく使命がある。

このため、コロナ禍における万全の感染防止対策を講じたうえで、県内における農業振興の明日を担う担い手農業者等を対象に～JAグループ石川「担い手応援フェア」2020～を開催し、農業新時代にふさわしく、担い手農業者とJAグループとの信頼関係と絆がさらに強まるような一体的なイベントを実施する。

開催内容

- ① 担い手農業者向けステージセミナー
- ② 新技術や最近の農業情勢のワークショップ(2会場)
- ③ 農業者の所得増大・農業生産の拡大に関するブース設定
 「省力・低コスト農業」「ハイテク・スマート農業」「水稻・園芸振興」「アイデア農業」「マネージメント農業」など
- ④ JAグループの自己改革取組みコーナー
- ⑤ 屋外展示場を活用した農作業安全講習・ドローン等の実演 など

来場できない方のために

フェアの様子をリアルタイムで
WEB配信
 (要 事前申込)

【ステージセミナー・ワークショップの内容】

| | | |
|-------------|---|--|
| 09:00～09:30 | ワークショップ 〈A会場〉① ・ 〈B会場〉② | |
| 09:40～10:30 | セミナー 講師:末松 広行 氏(農林水産省顧問) 内容:農政の課題と今後の政策展開方向 | |
| 10:40～11:10 | ワークショップ 〈A会場〉③ ・ 〈B会場〉④ | |
| 11:20～12:10 | セミナー 講師:藤井 弘志 氏(株)ファームフロンティア取締役会長 内容:ICT技術を活用した近未来の稲作生産システム | |
| 来場者入れ替え | | |
| 12:50～13:20 | ワークショップ 〈A会場〉① ・ 〈B会場〉② | |
| 13:30～14:20 | セミナー 講師:合瀬 宏毅 氏 (一社)アグリフューチャー・ジャパン 副理事長 内容:農業経営者に求められるもの | |
| 14:30～15:00 | ワークショップ 〈A会場〉③ ・ 〈B会場〉④ | |
| 15:10～16:00 | セミナー 講師:藤井 弘志 氏(株)ファームフロンティア取締役会長 内容:ICT技術を活用した近未来の稲作生産システム | |

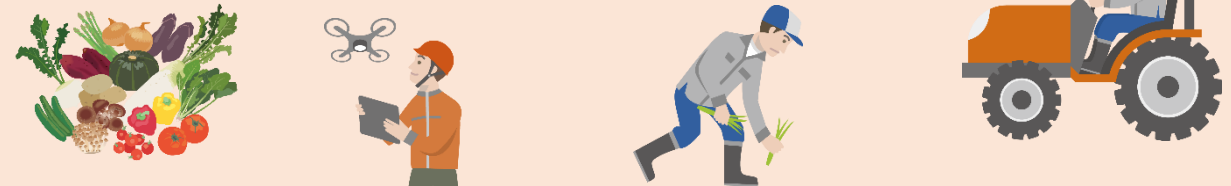
ワークショップのテーマ

| | | |
|--------|-----------------------|---------------------|
| (A会場)① | 「現場に役立つシステムの活用」 | (講師:JA全農 耕種総合対策部) |
| (B会場)② | 「GAP実践による経営管理」 | (講師:JAグループ石川営農戦略室) |
| (A会場)③ | 「水稻除草剤の開発動向と上手な使い方」 | (講師:JA全農いしかわ 生産資材部) |
| (B会場)④ | 「女性のための素敵な野良スタイルのご提案」 | (講師:株式会社ユニワールド) |

【農業者の所得増大・農業生産の拡大に関するブース展開】

① 省力・低コスト農業ゾーン 最新の肥料・農薬に関する紹介、提案 など

② ハイテク・スマート農業ゾーン 最新農機の展示、農機アタッチメントの展示など



③ 水稻・園芸振興ゾーン ハウス資材に関する紹介、園芸機械化一貫体系、園芸複合経営提案(水稻跡園芸作物、ういずOne紹介等) など

④ アイデア農業ゾーン 鳥獣害対策、農商工連携、アシストスーツの紹介、農作業着改善提案 など

⑤ マネージメント農業ゾーン 生産管理システム利活用、農業労働力相談、新規就農支援、事業承継相談、遠隔監視システム など



⑥ JA自己改革ゾーン 県内JAにおける自己改革の実践事例の紹介

⑦ 石川の農業研究ゾーン 石川県農林総合研究センター、いしかわ農業総合支援機構 など

JAグループ石川 担い手応援フェア 感染症対策ガイドライン及び会場レイアウト

感染症対策ガイドライン骨子

新型コロナウイルス感染防止のための対策をまとめたガイドラインを策定し、参加者・設営業者・出展団体・JA・連合会等の協力のもと、感染拡大のリスクを抑えながら開催する。

【開催前の実施事項】

1. 感染症対策の方針・組織の整備

- ①感染状況に関する正確な情報源の確保。
厚労省および石川県が公表する発生状況により確認する。
- ②担い手応援フェア2020の中止を判断する基準。
政府による緊急事態宣言の発令や県をまたぐ移動の自粛要請等、感染拡大が深刻化するような状況に陥った場合は、主催者の判断により中止を決定する。また、会場側が使用不可とした場合も中止とする。
- ③感染症対策の責任者及び組織、役割分担表を作成し共有する。

2. 会場・開催関係団体等との共同準備

- ①主催者と会場の役割分担
感染防止対策における役割分担について、整理のうえマニュアル化する。
- ②会場における感染防止対策

- 1) 会場内の換気対策
- 2) トイレなど共用部の清掃・消毒、ゴミの廃棄
- 3) 開催関係団体等への感染防止策の指導
- ③感染の疑いのある参加者を発見した際の緊急連絡先
- ④感染者が発生した場合の緊急連絡網を作成する。

3. 参加者(来場者、出展者)への対策周知と遵守

- ①来場時のマスク着用の徹底
- ②当日の参加を控える判断基準
 - 1) 発熱(37.5℃以上を目安)がある時
 - 2) 咳・咽頭痛・息苦しさ等の症状が認められる時
 - 3) 保健所等の健康観察下にある時
 - 4) 政府が指定する期間(本日現在は2週間以内)に海外渡航歴がある時
 - 5) その他、体調が優れない時

【開催当日の実施事項】

1. 発熱者・体調不良者の入場を防ぐ

- ①開催当日の体温測定、健康チェック
- ②当日の参加者リストの作成
- ③入場時の体温測定、健康チェック
- ④救護室の設置

2. 衛生環境を維持する

- ①消毒液による衛生管理
- ②マスク着用の徹底
- ③定期的な消毒の実施
- ④感染防止対策の周知
- ⑤会場内の物販・昼食の制限

3. 密閉させない

- ①会場内の換気対策(搬出入口や非常扉を開放)
- ②サーキュレーターを設置し空気の流れを作る
- ③関係者控室等の換気対策

4. 密集させない

- ①開会セレモニーの簡素化
- ②組合員参加者の分散(午前・午後入替制)
- ③受付における密集防止
- ④会場内のサイン表示
(接触を避けるため、床面に1m以上の間隔でサイン表示)
- ⑤会場内の混雑を回避するための巡回監視と呼びかけ
- ⑥十分な通路幅の確保
- ⑦セミナー会場等の座席間隔の確保

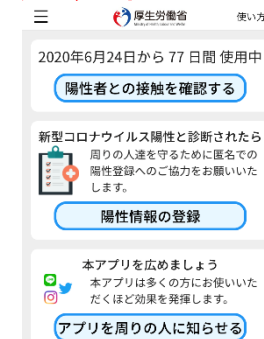
5. 密接させない

- ①参加者による接触(握手など)回避を喚起する看板設置
- ②展示ブースや相談ブースでの対応
(マスク着用・ソーシャルディスタンス)
- ③受付や相談ブースでの対応(アクリル板で飛沫防止)
- ④十分な休憩スペースの確保



接触確認アプリのインストール

アプリのインストールと稼働の依頼



Google Play



App Store



会場設営における感染症対策

【ソーシャルディスタンス】

- Ⓐ 受付前に足元シール
- Ⓑ 座席の間隔を空け、対面で配置しない。

【通気性を確保】

- Ⓒ バックパネルは連結しない。(上部接続金具のみの箇所あり)
- Ⓓ ブース間口は最長6m~7mとし、通路を設ける。

【飛沫・感染防止】

- Ⓔ 入場口で検温~ワンタッチ消毒液設置
- Ⓕ 受付・演台にアクリルパネル
- Ⓖ 手提げバッグ等粗品の手渡しは避ける
- Ⓗ 看護師を1名待機000